

令和3年度大分県経済の概況

	大分県	国
県(国)内総生産(名目)	4兆6,839億円	550兆5,304億円
経済成長率 名目	5.6%	2.4%
実質(連鎖方式)	7.4%	2.5%
一人当たり県(国)民所得	2,768千円	3,155千円
同上対前年度比増減率	6.0%	6.1%
同上県/国格差	87.7 (前年度87.8)	100

(注) 県(国)内総生産(名目)及び経済成長率は、県は生産側、国は支出側の数値

(1) 経済の動向

令和3年度の日本経済は、9月までの新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に加え、半導体や自動車部品の供給面での制約等が影響し、個人消費、設備投資、輸出が弱い回復となった。また、10月以降、全ての都道府県において緊急事態宣言等が解除され、経済社会活動の段階的引上げに伴い、個人消費が上向き、景気は持ち直しの動きがみられた。

この結果、令和3年度の名目経済成長率は2.4%となり、名目は2年ぶりのプラス成長、実質は3年ぶりのプラス成長となった。

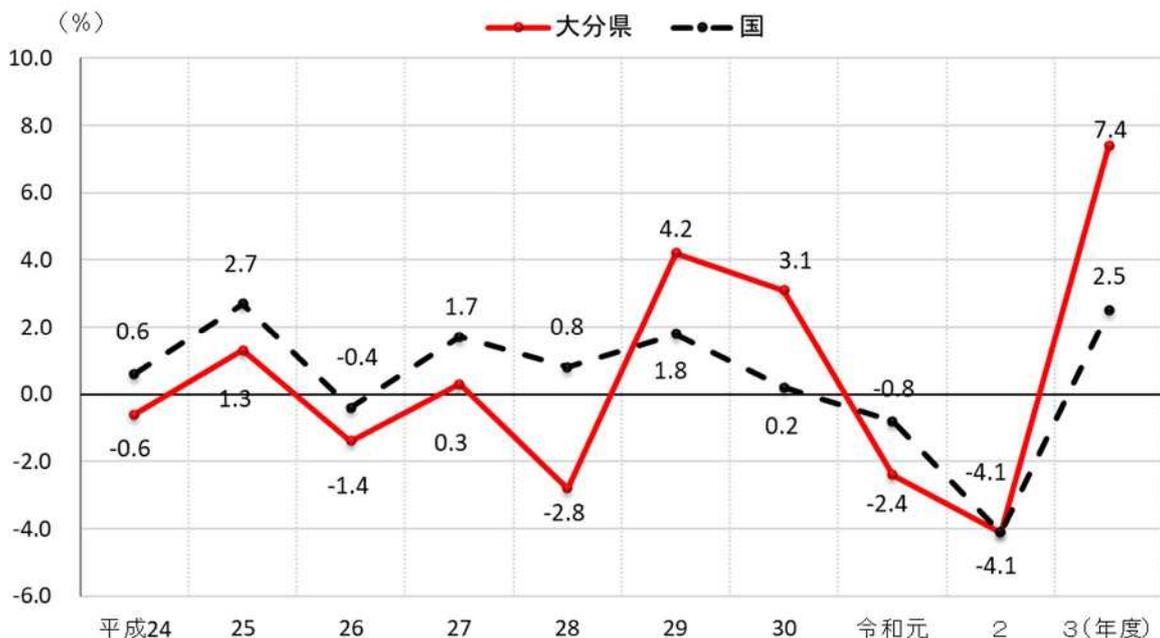
このような中で、大分県経済は、生産面では、名目で対前年度増加率を寄与度順に見ると、製造業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業など10産業が増加し、公務、宿泊・飲食サービス業など6産業が減少、実質で対前年度増加率を寄与度順に見ると、製造業など10産業が増加し、公務、教育など6産業が減少した。

分配面では、雇用者報酬が減少し、財産所得、企業所得が増加した。

支出面では、民間最終消費支出、地方政府等最終消費支出、県内総資本形成が増加した。

この結果、令和3年度の大分県の経済成長率は名目では5.6%、実質では7.4%となり、名目、実質ともに3年ぶりのプラスとなった。

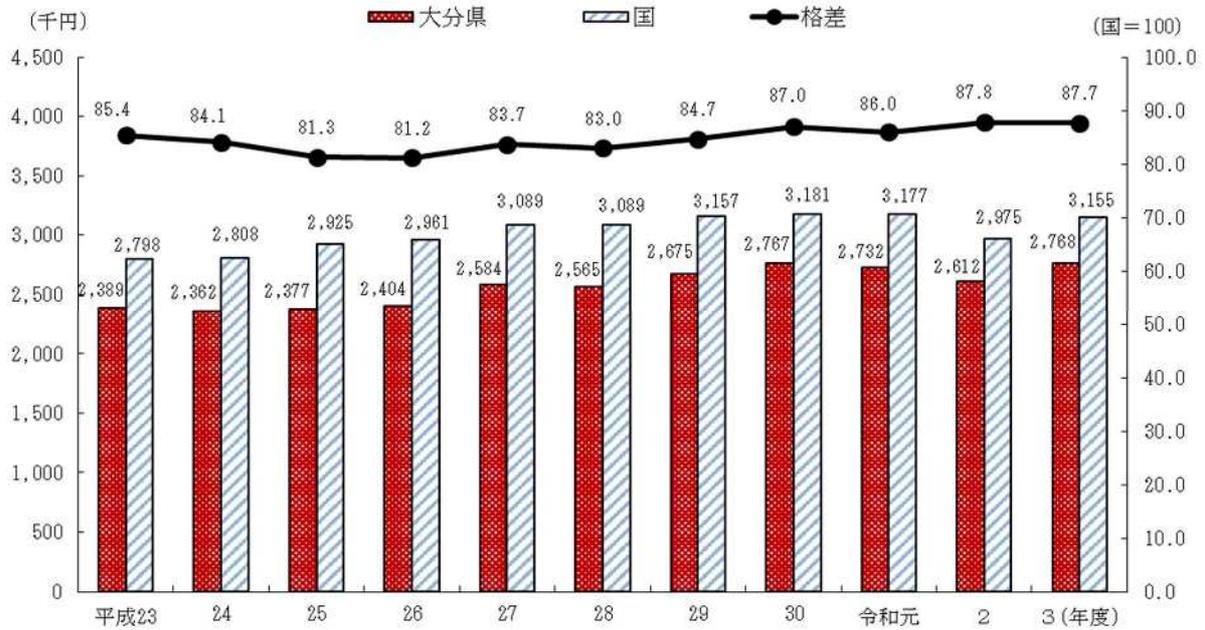
図1 実質経済成長率の推移



(2) 一人当たり県民所得

令和3年度の一人当たり県民所得は276万8千円で、前年度に比べ15万6千円増加し、+6.0%と3年ぶりのプラスとなった。一人当たり国民所得を100とした場合、一人当たり県民所得は87.7となり、前年度と格差は0.1ポイント拡大した。

図2 一人当たり県(国)民所得及び格差の推移



2 市町村内総生産 【付表－1 参照】

2-1 市町村内総生産の概況

令和3年度の市町村内総生産の県計（県内総生産）は4兆6,839億円で、前年度に比して2,480億円増加、増加率+5.6%（令和2年度は-2.4%）と3年ぶりのプラスとなった。

市町村内総生産を市町村別にみると、九重町（+17.1%）、日田市（+12.3%）など10市町が前年度に対して増加した（令和2年度は5市町村）。一方、豊後大野市（-8.7%）、姫島村（-6.4%）など8市村が減少した（令和2年度は13市村）。

市町村内総生産の県計を経済活動別にみると、第1次産業は793億円で、前年度に比して11億円減少、増加率-1.3%（令和2年度は-9.1%）と2年連続のマイナスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は1.7%（令和2年度は1.8%）であった。

第1次産業を市町村別にみると、前年度に対して九重町（+13.3%）、日田市（+7.8%）、など5市町で増加した（令和2年度は1市村が増加）。一方、津久見市（-9.4%）、姫島村（-8.9%）、宇佐市（-8.7%）など13市町村が減少した（令和2年度は17市町が減少）。

第2次産業は1兆5,809億円で、前年度に対して1,853億円増加、増加率+13.3%（令和2年度は+3.3%）と2年連続のプラスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は33.8%（令和2年度は31.5%）であった。

第2次産業を市町村別にみると、前年度に対して日田市（+36.5%）、由布市（+32.0%）、玖珠町（+29.5%）、など10市町が増加した（令和2年度は13市町村）。一方、姫島村（-36.5%）、豊後大野市（-31.1%）、竹田市（-22.7%）など8市町村が減少した（令和2年度は5市町）。

第3次産業は2兆9,914億円で、前年度に対して531億円増加、増加率+1.8%（令和2年度は-4.8%）と2年ぶりのプラスとなった。市町村内総生産の総額に占める割合は63.9%（令和2年度は66.2%）となった。

第3次産業を市町村別にみると、前年度に対して九重町（+14.4%）、由布市（+2.6%）、など16市町村が増加した（令和2年度は0市町村）。津久見市（-1.9%）、玖珠町（-0.3%）の2市町が減少した。（令和2年度は18市町村）。

図3 市町村内総生産（実額）

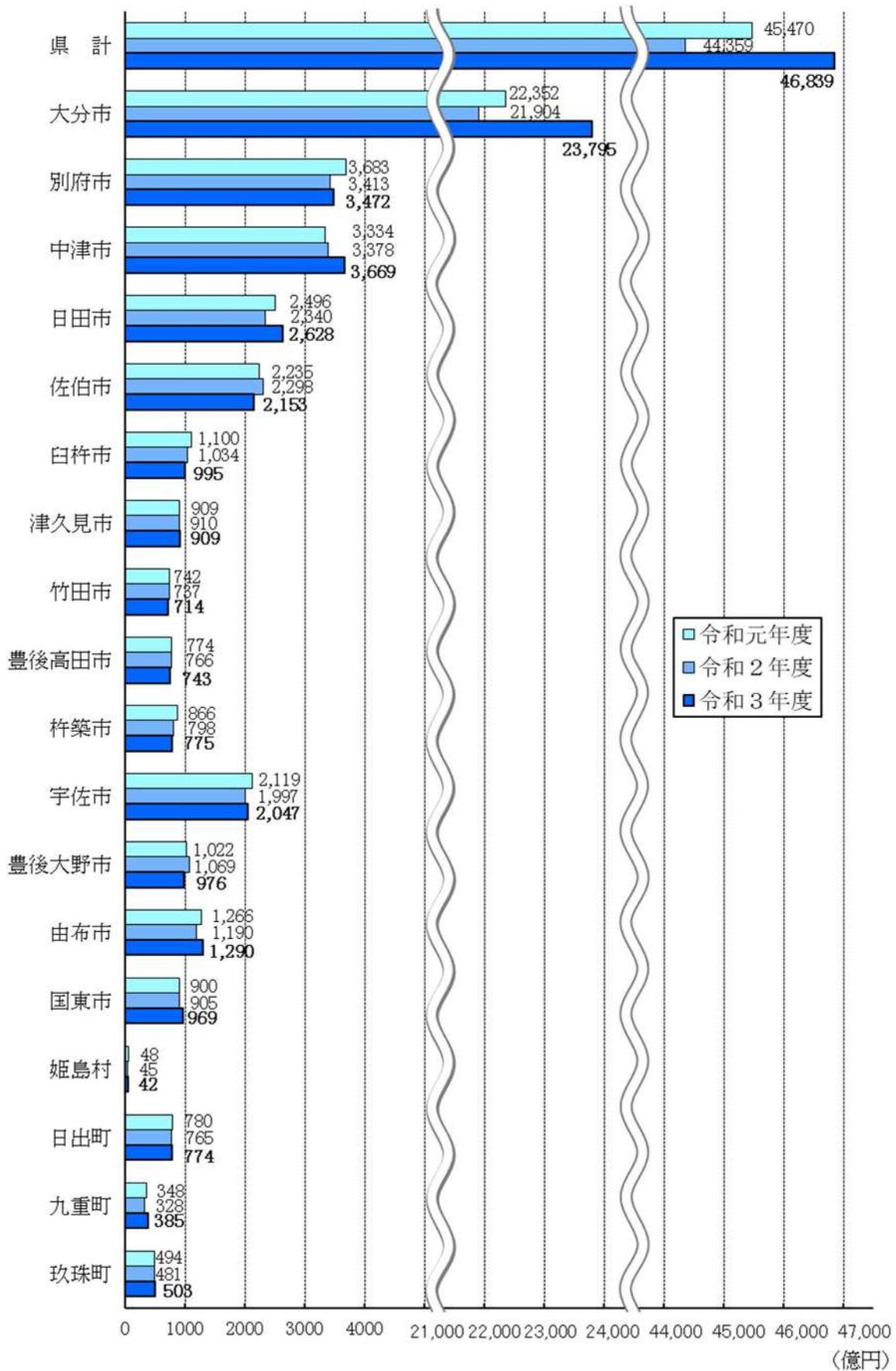


図4 市町村内総生産（対前年度増加率）

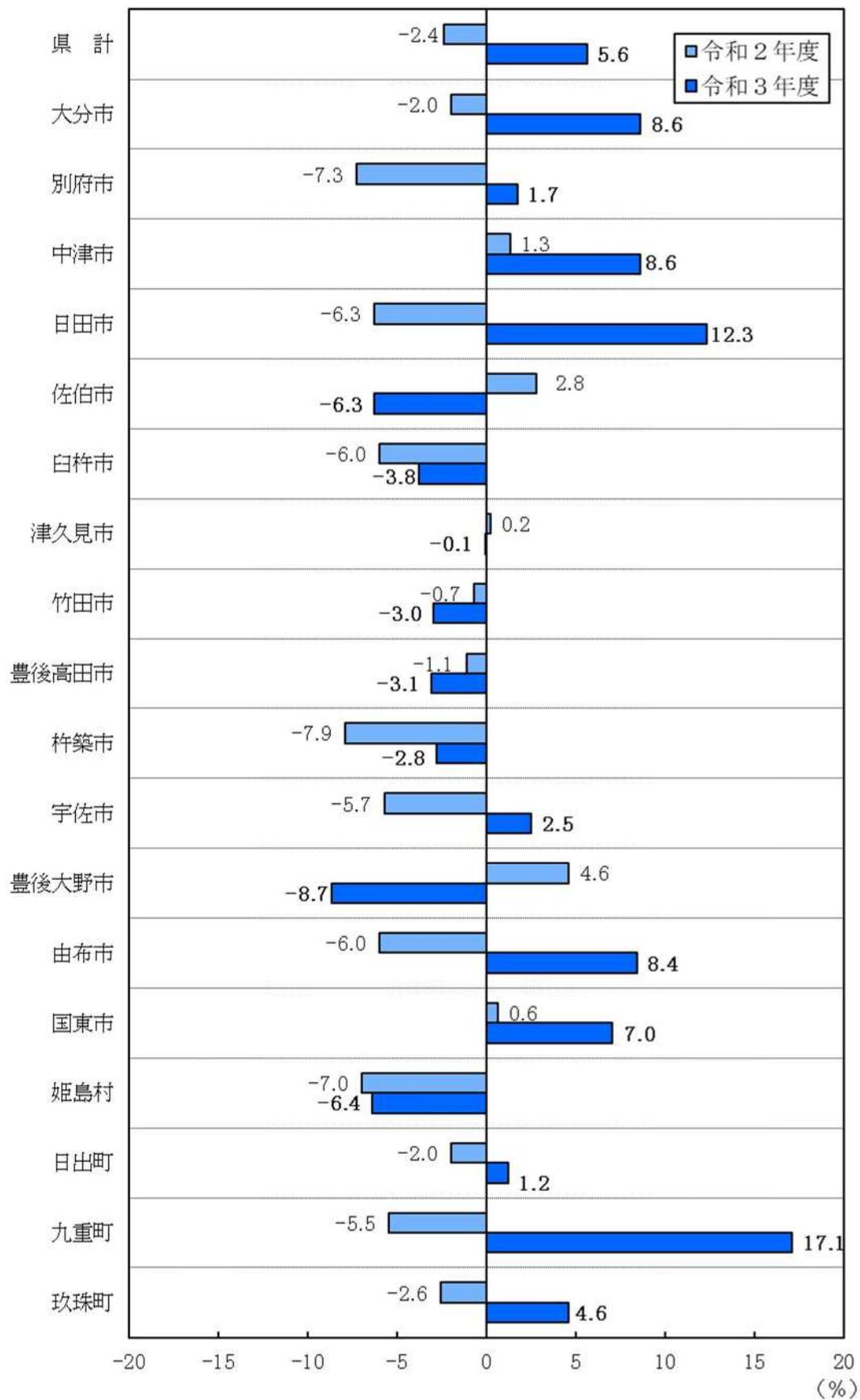
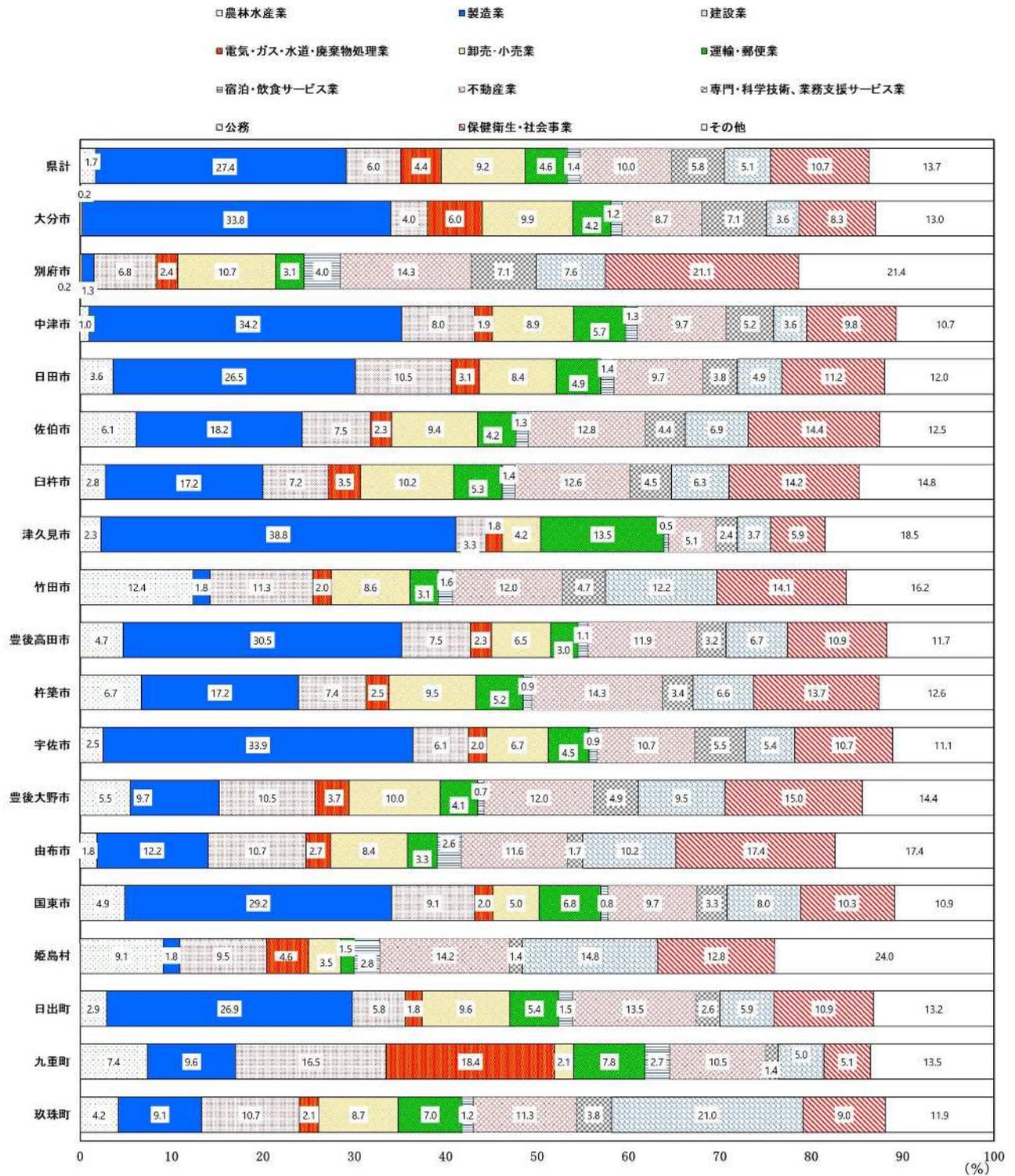


図5 市町村別経済活動別総生産の構成比（令和3年度）



注)「その他」には、鉱業、情報通信業、金融・保険業、教育、その他のサービス、輸入品に課される税・関税、(控除) 総資本形成に係る消費税が含まれる。

2-2 市町村別の動向

① 大分市

令和3年度市内総生産は2兆3,795億円、対前年度増加率+8.6%(令和2年度は-2.0%)で、3年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は48億円、対前年度増加率-6.5%となった。これは、農業(-9.8%)が減少したことによる。

第2次産業は8,986億円、対前年度増加率+20.2%となった。これは、製造業(+21.0%)などが増加したことによる。

第3次産業は1兆4,598億円、対前年度増加率+2.3%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業(+15.8%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.2%、第2次産業37.8%、第3次産業61.3%となった。

② 別府市

令和3年度市内総生産は3,472億円、対前年度増加率+1.7%(令和2年度は-7.3%)で、3年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は7億円、対前年度増加率-0.3%となった。これは、水産業(-25.6%)などが減少したことによる。

第2次産業は282億円、対前年度増加率+2.9%となった。これは、製造業(+17.6%)などが増加したことによる。

第3次産業は3,160億円、対前年度増加率+1.4%となった。これは、その他のサービス(+6.1%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.2%、第2次産業8.1%、第3次産業91.0%となった。

③ 中津市

令和3年度市内総生産は3,669億円、対前年度増加率+8.6%(令和2年度は+1.3%)で、5年連続プラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は36億円、対前年度増加率-3.8%となった。これは、農業(-6.9%)などが減少したことによる。

第2次産業は1,547億円、対前年度増加率+19.2%となった。これは、製造業(+14.6%)などが増加したことによる。

第3次産業は2,061億円、対前年度増加率+1.7%となった。これは、運輸・郵便業(+6.1%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業1.0%、第2次産業42.2%、第3次産業56.2%となった。

④ 日田市

令和3年度市内総生産は2,628億円、対前年度増加率+12.3%（令和2年度は-6.3%）で、4年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は95億円、対前年度増加率+7.8%となった。これは、林業（+42.7%）などが増加したことによる。

第2次産業は979億円、対前年度増加率+36.5%となった。これは、製造業（+34.6%）などが増加したことによる。

第3次産業は1,535億円、対前年度増加率+0.8%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+17.4%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業3.6%、第2次産業37.3%、第3次産業58.4%となった。

⑤ 佐伯市

令和3年度市内総生産は2,153億円、対前年度増加率-6.3%（令和2年度は+2.8%）で、2年ぶりのマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は132億円、対前年度増加率+3.8%となった。これは、林業（+37.5%）が増加したことによる。

第2次産業は560億円、対前年度増加率-21.9%となった。これは、製造業（-24.9%）などが減少したことによる。

第3次産業は1,446億円、対前年度増加率+0.2%となった。これは、卸売・小売業（+3.3%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業6.1%、第2次産業26.0%、第3次産業67.2%となった。

⑥ 臼杵市

令和3年度市内総生産は995億円、対前年度増加率-3.8%（令和2年度は-6.0%）で、3年連続のマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は28億円、対前年度増加率-3.3%となった。これは、農業（-10.0%）が減少したことによる。

第2次産業は242億円、対前年度増加率-14.9%となった。これは、製造業（-21.0%）などが減少したことによる。

第3次産業は718億円、対前年度増加率+0.3%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+6.4%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.8%、第2次産業24.4%、第3次産業72.2%となった。

⑦ 津久見市

令和3年度市内総生産は909億円、対前年度増加率-0.1%（令和2年度は+0.2%）で、2年ぶりのマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は21億円、対前年度増加率-9.4%となった。これは、水産業（-10.7%）などが減少したことによる。

第2次産業は484億円、対前年度増加率+1.5%となった。これは、製造業（+6.7%）が増加したことによる。

第3次産業は398億円、対前年度増加率-1.9%となった。これは、運輸・郵便業（-9.1%）などが減少したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.3%、第2次産業53.2%、第3次産業43.8%となった。

⑧ 竹田市

令和3年度市内総生産は714億円、対前年度増加率-3.0%（令和2年度は-0.7%）で、5年連続のマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は88億円、対前年度増加率-2.6%となった。これは農業（-5.1%）が減少したことによる。

第2次産業は94億円、対前年度増加率-22.7%となった。これは、建設業（-26.8%）が減少したことによる。

第3次産業は527億円、対前年度増加率+1.2%となった。これは、保健衛生・社会事業（+4.3%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業12.4%、第2次産業13.1%、第3次産業73.8%となった。

⑨ 豊後高田市

令和3年度市内総生産は743億円、対前年度増加率-3.1%（令和2年度は-1.1%）で、3年連続のマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は35億円、対前年度増加率-7.7%となった。これは、農業（-9.9%）が減少したことによる。

第2次産業は282億円、対前年度増加率-9.2%となった。これは、建設業（-39.6%）などが減少したことによる。

第3次産業は420億円、対前年度増加率+1.5%となった。これは、保険衛生・社会事業（+3.7%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業4.7%、第2次産業38.0%、第3次産業56.6%となった。

⑩ 杵築市

令和3年度市内総生産は775億円、対前年度増加率-2.8%（令和2年度は-7.9%）で、5年連続のマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は52億円、対前年度増加率-6.6%となった。これは、農業（-6.5%）などが減少したことによる。

第2次産業は191億円、対前年度増加率-11.3%となった。これは、製造業（-9.1%）などが減少したことによる。

第3次産業は527億円、対前年度増加率+0.7%となった。これは、保健衛生・社会事業（+3.2%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業6.7%、第2次産業24.6%、第3次産業68.0%となった。

⑪ 宇佐市

令和3年度市内総生産は2,047億円、対前年度増加率+2.5%（令和2年度は-5.7%）で、2年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は50億円、対前年度増加率-8.7%となった。これは、農業（-9.6%）などが減少したことによる。

第2次産業は824億円、対前年度増加率+4.2%となった。これは、製造業（+7.4%）などが増加したことによる。

第3次産業は1,158億円、対前年度増加率+1.5%となった。これは、保健衛生・社会事業（+4.6%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.5%、第2次産業40.3%、第3次産業56.6%となった。

⑫ 豊後大野市

令和3年度市内総生産は976億円、対前年度増加率-8.7%（令和2年度は+4.6%）で、2年ぶりのマイナスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は53億円、対前年度増加率-7.3%となった。これは、農業（-12.3%）などが減少したことによる。

第2次産業は212億円、対前年度増加率-31.1%となった。これは、製造業（-40.4%）などが減少したことによる。

第3次産業は704億円、対前年度増加率+0.7%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+11.0%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業5.5%、第2次産業21.7%、第3次産業72.2%となった。

⑬ 由布市

令和3年度市内総生産は1,290億円、対前年度増加率+8.4%(令和2年度は-6.0%)で、2年ぶりのプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は23億円、対前年度増加率+5.0%となった。これは、林業(+45.5%)などが増加したことによる。

第2次産業は296億円、対前年度増加率+32.0%となった。これは、製造業(+35.8%)などが増加したことによる。

第3次産業は962億円、対前年度増加率+2.6%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業(+48.0%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業1.8%、第2次産業23.0%、第3次産業74.5%となった。

⑭ 国東市

令和3年度市内総生産は969億円、対前年度増加率+7.0%(令和2年度は+0.6%)で、5年連続のプラスとなった。

市内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は47億円、対前年度増加率+0.9%となった。これは、林業(+54.4%)が増加したことによる。

第2次産業は373億円、対前年度増加率+16.5%となった。これは、製造業(+22.2%)などが増加したことによる。

第3次産業は542億円、対前年度増加率+1.5%となった。これは、運輸・郵便業(+16.1%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業4.9%、第2次産業38.4%、第3次産業56.0%となった。

⑮ 姫島村

令和3年度村内総生産は42億円、対前年度増加率-6.4%(令和2年度は-7.0%)で、2年連続のマイナスとなった。

村内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は4億円、対前年度増加率-8.9%となった。これは、水産業(-8.9%)が減少したことによる。

第2次産業は5億円、対前年度増加率-36.5%となった。これは、建設業(-40.7%)などが減少したことによる。

第3次産業は33億円、対前年度増加率+0.5%となった。これは、その他のサービス(+8.8%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業9.1%、第2次産業11.4%、第3次産業78.9%となった。

⑩ 日出町

令和3年度町内総生産は774億円、対前年度増加率+1.2%(令和2年度は-2.0%)で、4年ぶりのプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は22億円、対前年度増加率-1.1%となった。これは、水産業(-1.5%)などが減少したことによる。

第2次産業は254億円、対前年度増加率-1.4%となった。これは、建設業(-22.6%)などが減少したことによる。

第3次産業は493億円、対前年度増加率+2.4%となった。これは、保健衛生・社会事業(+4.8%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.9%、第2次産業32.8%、第3次産業63.7%となった。

⑪ 九重町

令和3年度町内総生産は385億円、対前年度増加率+17.1%(令和2年度は-5.5%)で、2年ぶりのプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は28億円、対前年度増加率+13.3%となった。これは、林業(+50.5%)が増加したことによる。

第2次産業は101億円、対前年度増加率+24.8%となった。これは、建設業(+34.1%)などが増加したことによる。

第3次産業は253億円、対前年度増加率+14.4%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業(+62.9%)などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業7.4%、第2次産業26.3%、第3次産業65.7%となった。

⑫ 玖珠町

令和3年度町内総生産は503億円、対前年度増加率+4.6%(令和2年度は-2.6%)で、3年ぶりのプラスとなった。

町内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は21億円、対前年度増加率-3.0%となった。これは、農業(-6.3%)が減少したことによる。

第2次産業は100億円、対前年度増加率+29.5%となった。これは、建設業(+53.8%)などが増加したことによる。

第3次産業は379億円、対前年度増加率-0.3%となった。これは、公務(-4.5%)などが減少したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業4.2%、第2次産業19.8%、第3次産業75.3%となった。

2-3 地域別の動向

令和3年度の市町村内総生産を地域別にみると、前年度に比して、西部（+11.6%）、中部（+7.8%）、北部（+5.2%）、東部（+1.8%）の4地域が増加したが、豊肥（-6.4%）、南部（-6.3%）の2地域が減少した。

地域別構成比では、中部が県全体の57.6%を占めた。

表1 地域別市町村内総生産

(単位:億円、%)

年 度	実 額			対前年度増減額		対前年度増加率		構成比		寄与度
	R1	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R3
県 計	45,470	44,359	46,839	-1,111	2,480	-2.4	5.6	100.0	100.0	5.6
東 部	6,277	5,925	6,032	-352	107	-5.6	1.8	13.4	12.9	0.2
中 部	25,628	25,039	26,989	-589	1,950	-2.3	7.8	56.4	57.6	4.4
南 部	2,235	2,298	2,153	63	-145	2.8	-6.3	5.2	4.6	-0.3
豊 肥	1,764	1,806	1,690	42	-116	2.3	-6.4	4.1	3.6	-0.3
西 部	3,338	3,149	3,516	-189	367	-5.6	11.6	7.1	7.5	0.8
北 部	6,228	6,142	6,459	-86	317	-1.4	5.2	13.8	13.8	0.7

注) 寄与度は、県全体の成長率に対するものである。

経済活動別にみると、前年度に比して、第1次産業は、北部（-7.0%）、豊肥（-4.4%）などの4地域が減少したことから、県全体では-1.3%（令和2年度は-9.1%）と2年連続のマイナスとなった。

第2次産業は、西部（+34.8%）、中部（+18.2%）など4地域で増加したことから、県全体では+13.3%（令和2年度は+3.3%）と2年連続のプラスとなった。

第3次産業は、中部（+2.1%）、西部（+2.1%）など6地域で増加したことから、県全体では+1.8%（令和2年度は-4.8%）と2年ぶりにプラスとなった。

① 東部（別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）

令和3年度地域内総生産は6,032億円、対前年度増加率+1.8%（令和2年度は-5.6%）で、3年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は132億円、対前年度増加率-2.9%となった。これは、農業（-4.2%）などが減少したことによる。

第2次産業は1,103億円、対前年度増加率+2.8%となった。これは、製造業（+8.8%）などが増加したことによる。

第3次産業は4,755億円、対前年度増加率+1.4%となった。これは、保健衛生・社会事業（+2.1%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業2.2%、第2次産業18.3%、第3次産業78.8%となった。

② 中部（大分市、臼杵市、津久見市、由布市）

令和3年度地域内総生産は2兆6,989億円、対前年度増加率+7.8%（令和2年度は-2.3%）で、3年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は120億円、対前年度増加率-4.2%となった。これは、農業（-9.6%）などが減少したことによる。

第2次産業は1兆8億円、対前年度増加率+18.2%となった。これは、製造業（+19.4%）などが増加したことによる。

第3次産業は1兆6,675億円、対前年度増加率+2.1%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+16.0%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業0.4%、第2次産業37.1%、第3次産業61.8%となった。

③ 南部（佐伯市）

令和3年度地域内総生産は2,153億円、対前年度増加率-6.3%（令和2年度は+2.8%）で、2年ぶりにマイナスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は132億円、対前年度増加率+3.8%となった。これは、林業（+37.5%）が増加したことによる。

第2次産業は560億円、対前年度増加率-21.9%となった。これは、製造業（-24.9%）などが減少したことによる。

第3次産業は1,446億円、対前年度増加率+0.2%となった。これは、卸売・小売業（+3.3%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業6.1%、第2次産業26.0%、第3次産業67.2%となった。

④ 豊肥（竹田市、豊後大野市）

令和3年度地域内総生産は1,690億円、対前年度増加率-6.4%（令和2年度は+2.3%）で、2年ぶりのマイナスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は142億円、対前年度増加率-4.4%となった。これは、農業（-7.8%）が減少したことによる。

第2次産業は305億円、対前年度増加率-28.7%となった。これは、製造業（-36.5%）などが減少したことによる。

第3次産業は1,232億円、対前年度増加率+0.9%となった。これは、保健衛生・社会事業（+2.9%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業8.4%、第2次産業18.1%、第3次産業72.9%となった。

⑤ 西部（日田市、九重町、玖珠町）

令和3年度地域内総生産は3,516億円、対前年度増加率+11.6%（令和2年度は-5.6%）で、4年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は145億円、対前年度増加率+7.1%となった。これは、林業（+37.9%）が増加したことによる。

第2次産業は1,180億円、対前年度増加率+34.8%となった。これは、製造業（+31.5%）などが増加したことによる。

第3次産業は2,167億円、対前年度増加率+2.1%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+33.3%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業4.1%、第2次産業33.6%、第3次産業61.6%となった。

⑥ 北部（中津市、豊後高田市、宇佐市）

令和3年度地域内総生産は6,459億円、対前年度増加率+5.2%（令和2年度は-1.4%）で、2年ぶりのプラスとなった。

地域内総生産を経済活動別にみると、第1次産業は121億円、対前年度増加率-7.0%となった。これは、農業（-8.9%）などが減少したことによる。

第2次産業は2,654億円、対前年度増加率+10.6%となった。これは、製造業（+11.4%）などが増加したことによる。

第3次産業は3,639億円、対前年度増加率+1.6%となった。これは、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（+9.2%）などが増加したことによる。

経済活動別の構成比は、第1次産業1.9%、第2次産業41.1%、第3次産業56.3%となった。

図6 地域別市町村内総生産（実額）

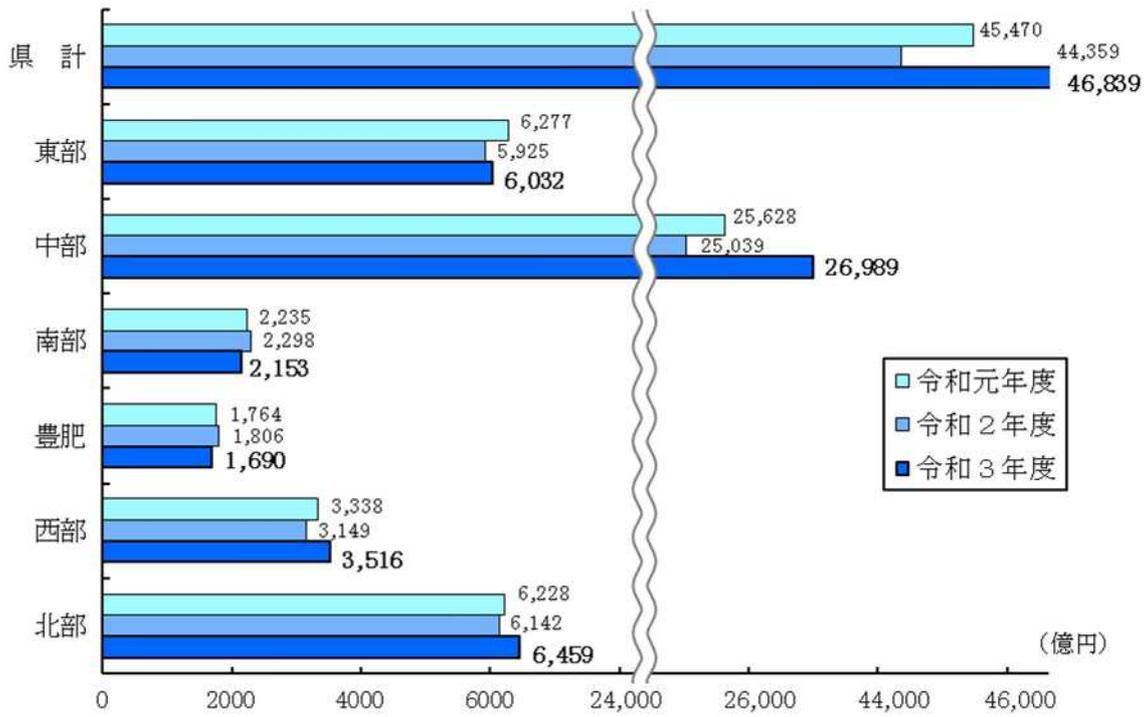


図7 地域別市町村内総生産（対前年度増加率）

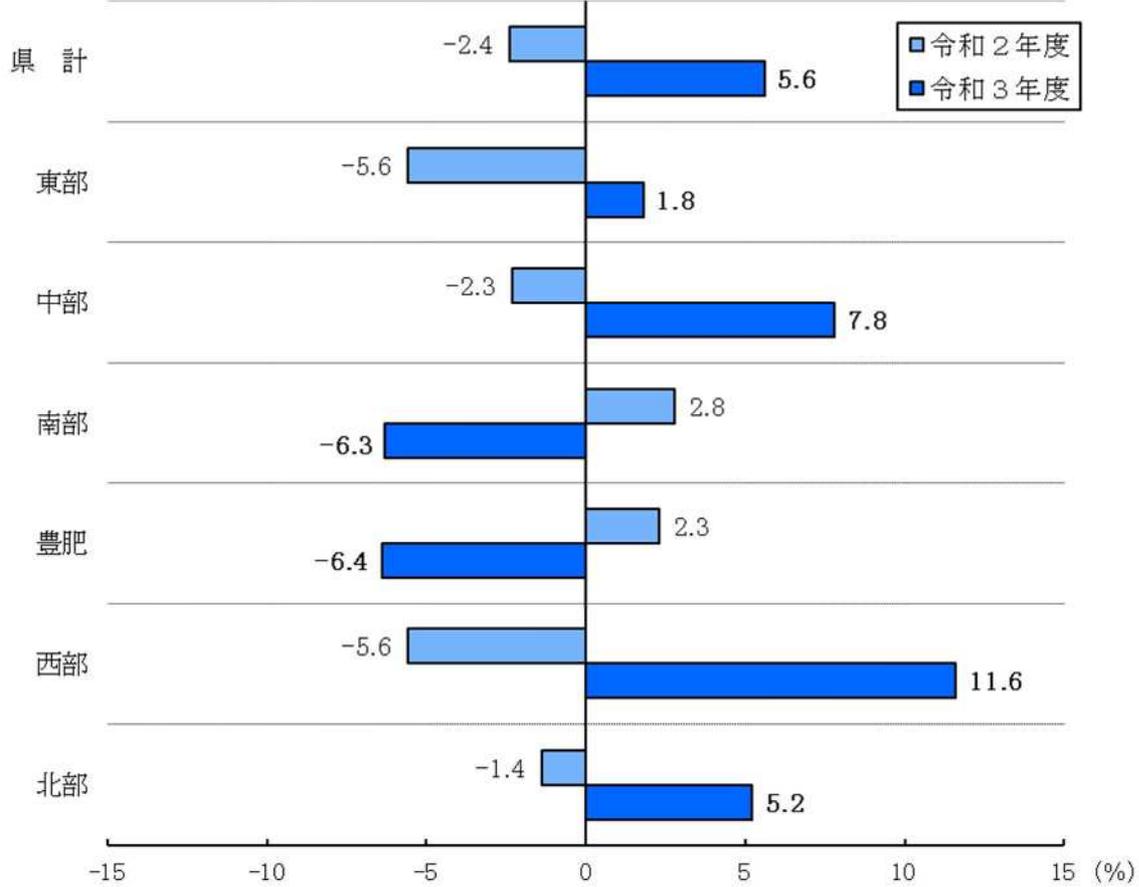
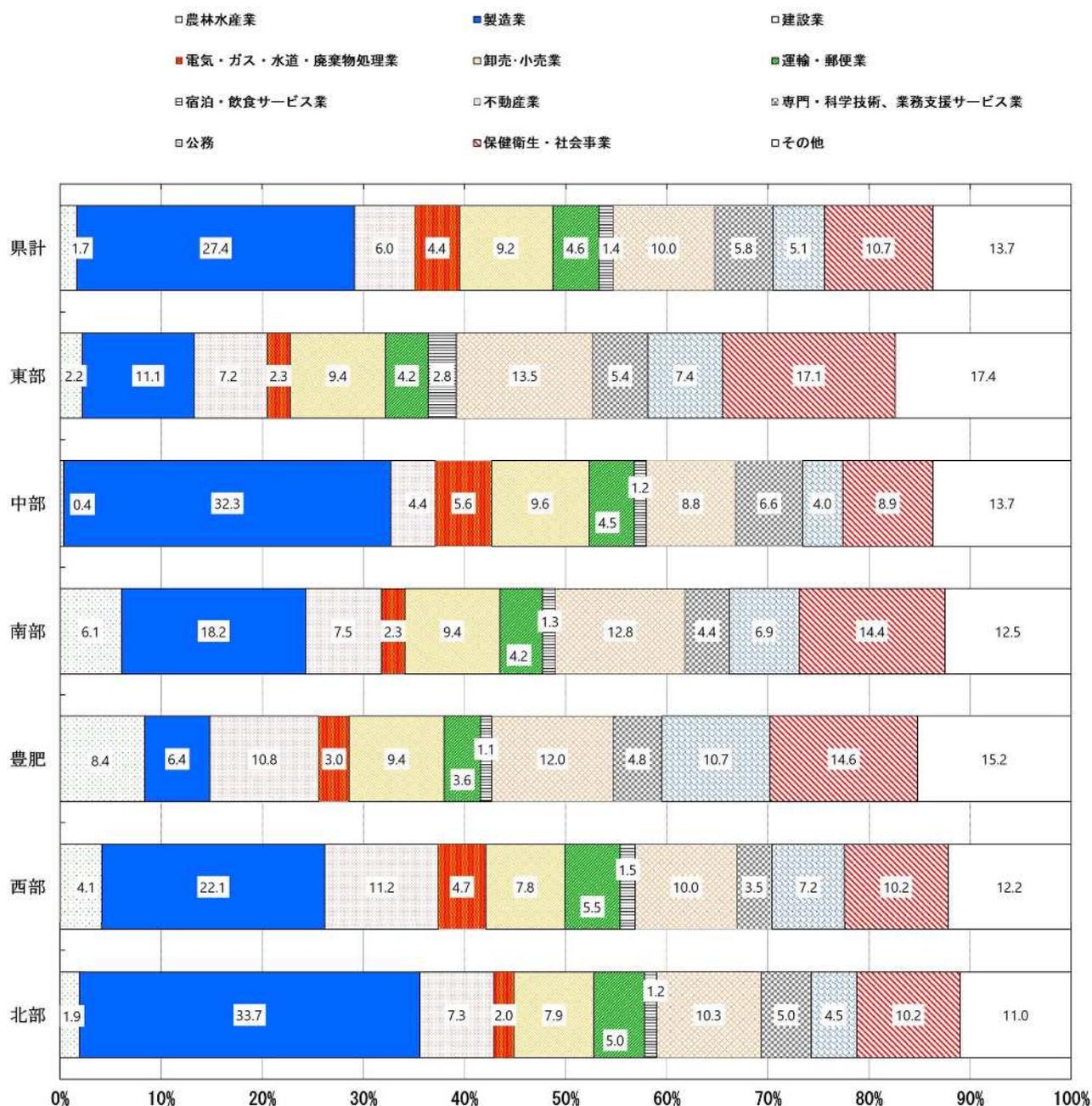


図8 地域別経済活動別総生産の構成比（令和3年度）



注) 「その他」には、鉱業、情報通信業、金融・保険業、教育、その他のサービス、輸用品に課される税・関税、(控除) 総資本形成に係る消費税が含まれる。

3 市町村民所得の分配 【付表－2、付表－3参照】

3－1 市町村民所得

令和3年度の県民所得は3兆856億円で、前年度に比して1,506億円増加、増加率+5.1%と3年ぶりのプラスとなった。

県民所得を市町村別にみると、前年度に対して増加したのは、九重町(+19.5%)、日田市(+9.3%)など10市町であった。一方、減少したのは、姫島村(-15.8%)、豊後大野市(-7.2%)など8市町村であった。

市町村民所得を所得項目別にみると、雇用者報酬は2兆1,562億円で、前年度に比して76億円減少し、増加率-0.3%と8年ぶりにマイナスとなった。市町村民所得に占める割合は69.9%であった。

市町村別にみると、前年度に対して増加したのは、姫島村(+2.7%)、九重町(+0.6%)、など4市町村であった。一方、減少したのは、竹田市(-3.4%)、杵築市(-2.9%)、由布市(-2.6%)など14市町が減少した。

財産所得(非企業部門)は1,832億円で、前年度に対して125億円増加、増加率7.4%と4年ぶりにプラスとなった。市町村民所得に占める割合は5.9%であった。

市町村別にみると、前年度に対して増加したのは、九重町(+18.1%)、大分市(+10.5%)など15市町であった。一方、減少したのは、姫島村(-10.0%)、豊後大野市(-1.7%)など3市村であった。

企業所得は7,462億円で、前年度に対して1,456億円増加、増加率+24.2%と3年ぶりにプラスとなった。市町村民所得に占める割合は24.2%であった。

市町村別にみると、前年度に対して増加したのは、九重町(+54.8%)、大分市(+41.1%)など10市町であった。一方、減少したのは、姫島村(-55.6%)、豊後大野市(-23.2%)など8市村であった。

図9 市町村民所得

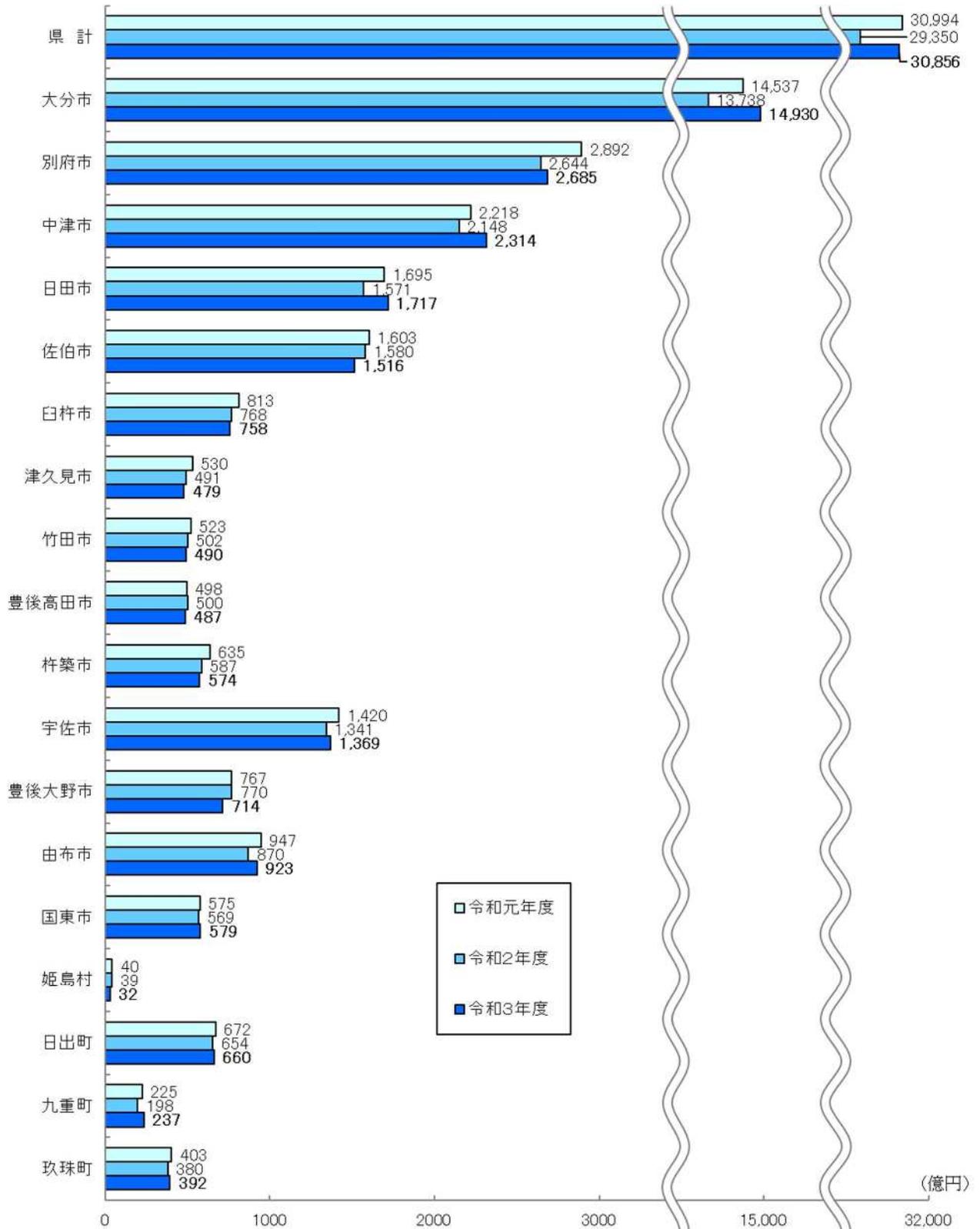
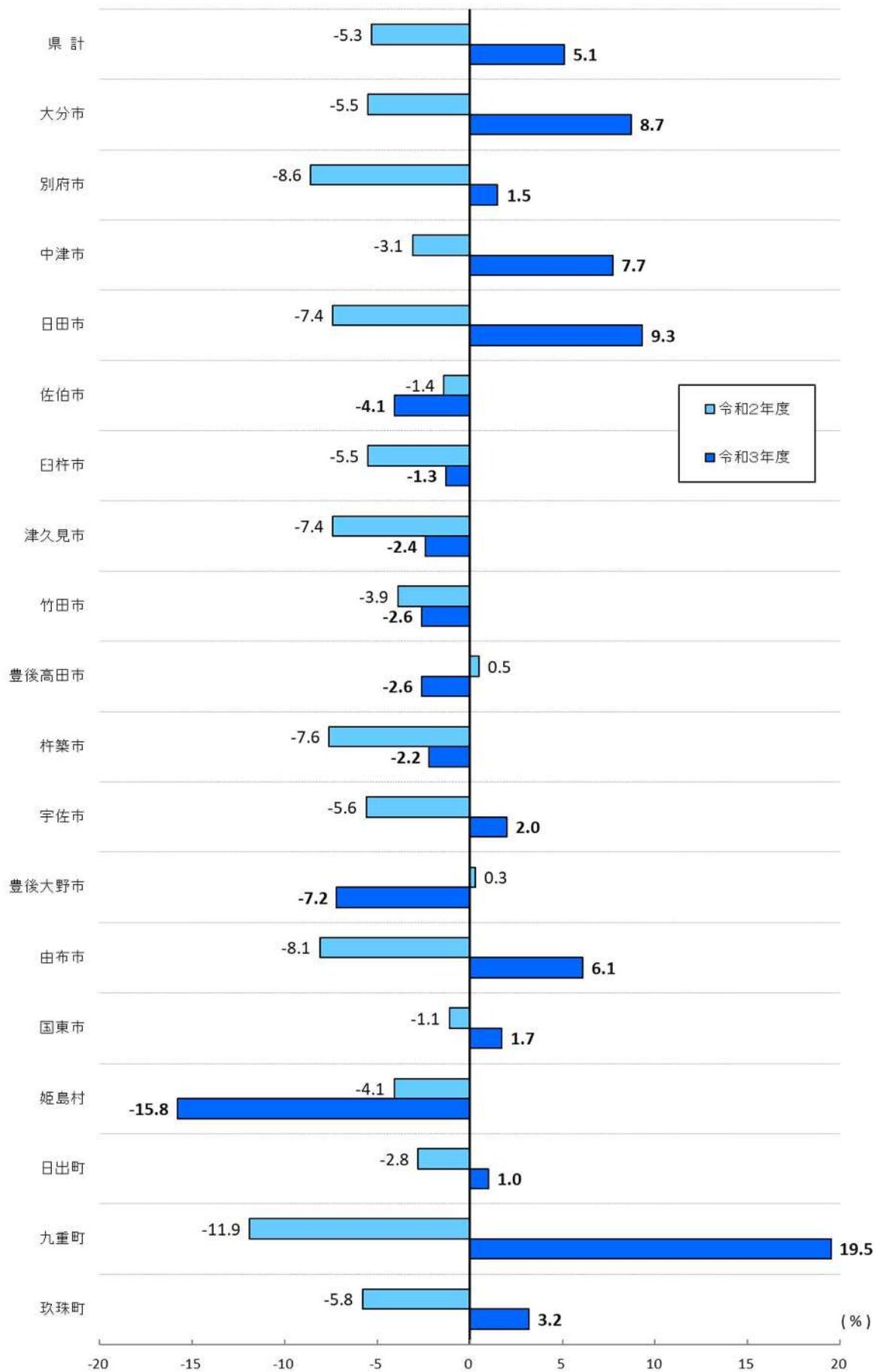


图 1 0 市町村民所得（对前年度增加率）



3-1-1 市町村別の動向

① 大分市

令和3年度市民所得総額は1兆4,930億円、対前年度増加率+8.7%、3年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は1兆363億円、対前年度増加率+0.4%、財産所得は899億円、対前年度増加率+10.5%、企業所得は3,669億円、対前年度増加率+41.1%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が69.4%、財産所得が6.0%、企業所得が24.6%となっている。

② 別府市

令和3年度市民所得総額は2,685億円、対前年度増加率+1.5%、3年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は2,034億円、対前年度増加率-0.3%、財産所得は167億円、対前年度増加率+3.4%、企業所得は485億円、対前年度増加率+9.3%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が75.7%、財産所得が6.2%、企業所得が18.1%となっている。

③ 中津市

令和3年度市民所得総額は2,314億円、対前年度増加率+7.7%、2年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は1,674億円、対前年度増加率+0.5%、財産所得は131億円、対前年度増加率+8.7%、企業所得は509億円、対前年度増加率+40.8%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が72.3%、財産所得が5.7%、企業所得が22.0%となっている。

④ 日田市

令和3年度市民所得総額は1,717億円、対前年度増加率+9.3%、4年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は1,024億円、対前年度増加率-0.6%、財産所得は101億円、対前年度増加率+9.6%、企業所得は592億円、対前年度増加率+32.1%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が59.6%、財産所得が5.9%、企業所得が34.5%となっている。

⑤ 佐伯市

令和3年度市民所得総額は1,516億円、対前年度増加率-4.1%、3年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は1,123億円、対前年度増加率-1.0%、財産所得は91億円、対前年度増加率-0.4%、企業所得は302億円、対前年度増加率-14.9%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が74.1%、財産所得が6.0%、企業所得が19.9%となっている。

⑥ 臼杵市

令和3年度市民所得総額は758億円、対前年度増加率-1.3%、3年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は591億円、対前年度増加率-1.6%、財産所得は46億円、対前年度増加率+1.0%、企業所得は122億円、対前年度増加率-0.5%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が77.9%、財産所得が6.1%、企業所得が16.0%となっている。

⑦ 津久見市

令和3年度市民所得総額は479億円、対前年度増加率-2.4%、4年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は287億円、対前年度増加率-2.1%、財産所得は26億円、対前年度増加率+0.1%、企業所得は166億円、対前年度増加率-3.4%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が59.9%、財産所得が5.5%、企業所得が34.6%となっている。

⑧ 竹田市

令和3年度市民所得総額は490億円、対前年度増加率-2.6%、5年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は282億円、対前年度増加率-3.4%、財産所得は27億円、対前年度増加率+3.8%、企業所得は180億円、対前年度増加率-2.1%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が57.7%、財産所得が5.6%、企業所得が36.7%となっている。

⑨ 豊後高田市

令和3年度市民所得総額は487億円、対前年度増加率-2.6%、2年ぶりのマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は347億円、対前年度増加率-0.2%、財産所得は28億円、対前年度増加率1.2%、企業所得は112億円、対前年度増加率-10.0%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が71.2%、財産所得が5.8%、企業所得が23.0%となっている。

⑩ 杵築市

令和3年度市民所得総額は574億円、対前年度増加率-2.2%、4年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は426億円、対前年度増加率-2.9%、財産所得は33億円、対前年度増加率+0.6%、企業所得は115億円、対前年度増加率-0.0%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が74.2%、財産所得が5.8%、企業所得が20.0%となっている。

⑪ 宇佐市

令和3年度市民所得総額は1,369億円、対前年度増加率+2.0%、4年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は901億円、対前年度増加率-1.6%、財産所得は77億円、対前年度増加率+5.1%、企業所得は391億円、対前年度増加率+10.8%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が65.8%、財産所得が5.6%、企業所得が28.5%となっている。

⑫ 豊後大野市

令和3年度市民所得総額は714億円、対前年度増加率-7.2%、2年ぶりのマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は536億円、対前年度増加率-2.5%、財産所得は41億円、対前年度増加率-1.7%、企業所得は136億円、対前年度増加率-23.2%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が75.1%、財産所得が5.8%、企業所得が19.1%となっている。

⑬ 由布市

令和3年度市民所得総額は923億円、対前年度増加率+6.1%、2年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は602億円、対前年度増加率-2.6%、財産所得は55億円、対前年度増加率+6.8%、企業所得は266億円、対前年度増加率+32.8%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が65.2%、財産所得が5.9%、企業所得が28.9%となっている。

⑭ 国東市

令和3年度市民所得総額は579億円、対前年度増加率+1.7%、2年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は447億円、対前年度増加率-0.7%、財産所得は35億円、対前年度増加率+7.8%、企業所得は97億円、対前年度増加率+12.1%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が77.2%、財産所得が6.0%、企業所得が16.8%となっている。

⑮ 姫島村

令和3年度村民所得総額は32億円、対前年度増加率-15.8%、2年連続のマイナスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は25億円、対前年度増加率+2.7%、財産所得は2億円、対前年度増加率-10.0%、企業所得は5億円、対前年度増加率-55.6%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が77.3%、財産所得が6.6%、企業所得が16.1%となっている。

⑯ 日出町

令和3年度町民所得総額は660億円、対前年度増加率+1.0%、3年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は505億円、対前年度増加率-1.3%、財産所得は38億円、対前年度増加率+3.5%、企業所得は117億円、対前年度増加率+11.3%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が76.6%、財産所得が5.8%、企業所得が17.7%となっている。

⑰ 九重町

令和3年度町民所得総額は237億円、対前年度増加率+19.5%、2年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は122億円、対前年度増加率+0.6%、財産所得は13億円、対前年度増加率+18.1%、企業所得は101億円、対前年度増加率+54.8%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が51.7%、財産所得が5.4%、企業所得が42.9%となっている。

⑱ 玖珠町

令和3年度町民所得総額は392億円、対前年度増加率+3.2%、4年ぶりのプラスとなった。

所得項目別にみると、雇用者報酬は273億円、対前年度増加率-2.0%、財産所得は22億円、対前年度増加率+5.6%、企業所得は97億円、対前年度増加率+20.9%となっている。

また、各所得項目の構成比は、雇用者報酬が69.6%、財産所得が5.6%、企業所得が24.8%となっている。

3-1-2 地域別の動向

市町村民所得の総額を地域別にみると、前年度に対して、西部（+9.2%）、中部（+7.7%）、北部（+4.5%）、東部（+0.9%）の4地域で増加した。一方で、豊肥（-5.4%）、南部（-4.1%）の2地域で減少した。

地域別の動向を所得項目別にみると、雇用者報酬では、中部（+0.0%）の1地域で増加し、豊肥（-2.8%）南部（-1.0%）、東部（-0.8%）、西部（-0.8%）、北部（-0.2%）の5地域で減少した。財産所得では、西部（+9.7%）、中部（+9.6%）、北部（+6.6%）、東部（+3.5%）、豊肥（+0.4%）の5地域で増加し、南部（-0.4%）の1地域で減少した。

企業所得では、中部（+36.4%）、西部（+33.1%）、北部（+20.6%）、東部（+7.5%）の4地域で増加し、南部（-14.9%）、豊肥（-12.5%）の2地域で減少した。

表2 市町村民所得（地域別）

（単位：億円、%）

年 度	実 額			対前年度増減額		対前年度増加率		対県構成比	
	R 1	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
県 計	30,994	29,350	30,856	-1,644	1,506	-5.3	5.1	100.0	100.0
東 部	4,815	4,492	4,531	-323	39	-6.7	0.9	15.3	14.7
中 部	16,826	15,867	17,090	-959	1,223	-5.7	7.7	54.1	55.4
南 部	1,603	1,580	1,516	-23	-64	-1.4	-4.1	5.4	4.9
豊 肥	1,290	1,272	1,204	-18	-68	-1.4	-5.4	4.3	3.9
西 部	2,323	2,149	2,346	-175	197	-7.5	9.2	7.3	7.6
北 部	4,136	3,990	4,170	-146	180	-3.5	4.5	13.6	13.5

表3 市町村民所得（所得項目別・地域別）

（単位：億円、%）

	雇用者報酬			財産所得			企業所得		
	実額	対前年度増減額	同増加率	実額	対前年度増減額	同増加率	実額	対前年度増減額	同増加率
県 計	21,562	-76	-0.3	1,832	125	7.4	7,462	1,456	24.2
東 部	3,437	-28	-0.8	275	9	3.5	818	57	7.5
中 部	11,842	6	0.0	1,025	90	9.6	4,222	1,127	36.4
南 部	1,123	-11	-1.0	91	0	-0.4	302	-53	-14.9
豊 肥	819	-24	-2.8	69	0	0.4	316	-45	-12.5
西 部	1,420	-11	-0.8	136	12	9.7	791	197	33.1
北 部	2,922	-7	-0.2	237	15	6.6	1,012	173	20.6

3-2 一人当たり市町村民所得

一人当たり市町村民所得の県平均は276万8千円で、前年度に対して15万6千円増加し、対前年度増加率+6.0%で、3年ぶりのプラスとなった。

これを市町村別にみると、前年度に対して増加したのは、九重町(+22.2%)、日田市(+11.0%)の13市町、減少したのは、姫島村(-13.3%)、豊後大野市(-5.6%)などの5市村であった。

※一人当たり市町村民所得は、各市町村の市町村民所得の総額を当該市町村の総人口で除したものです。市町村民所得には財産所得や企業所得が含まれ、また、総人口には15歳未満人口等も含まれることから、給与の平均水準等を示す数値ではありません。

図 1 1 一人当たり市町村民所得

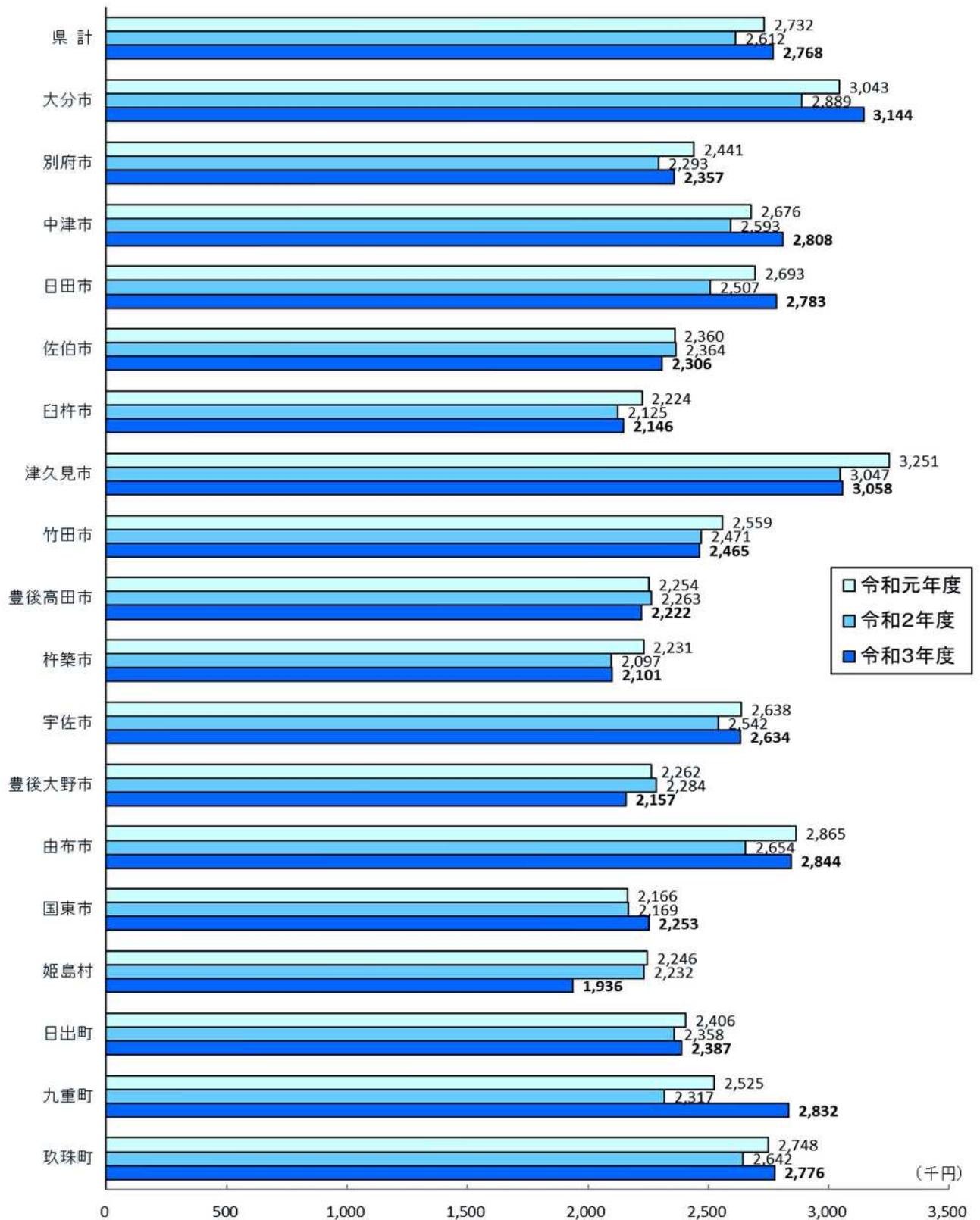
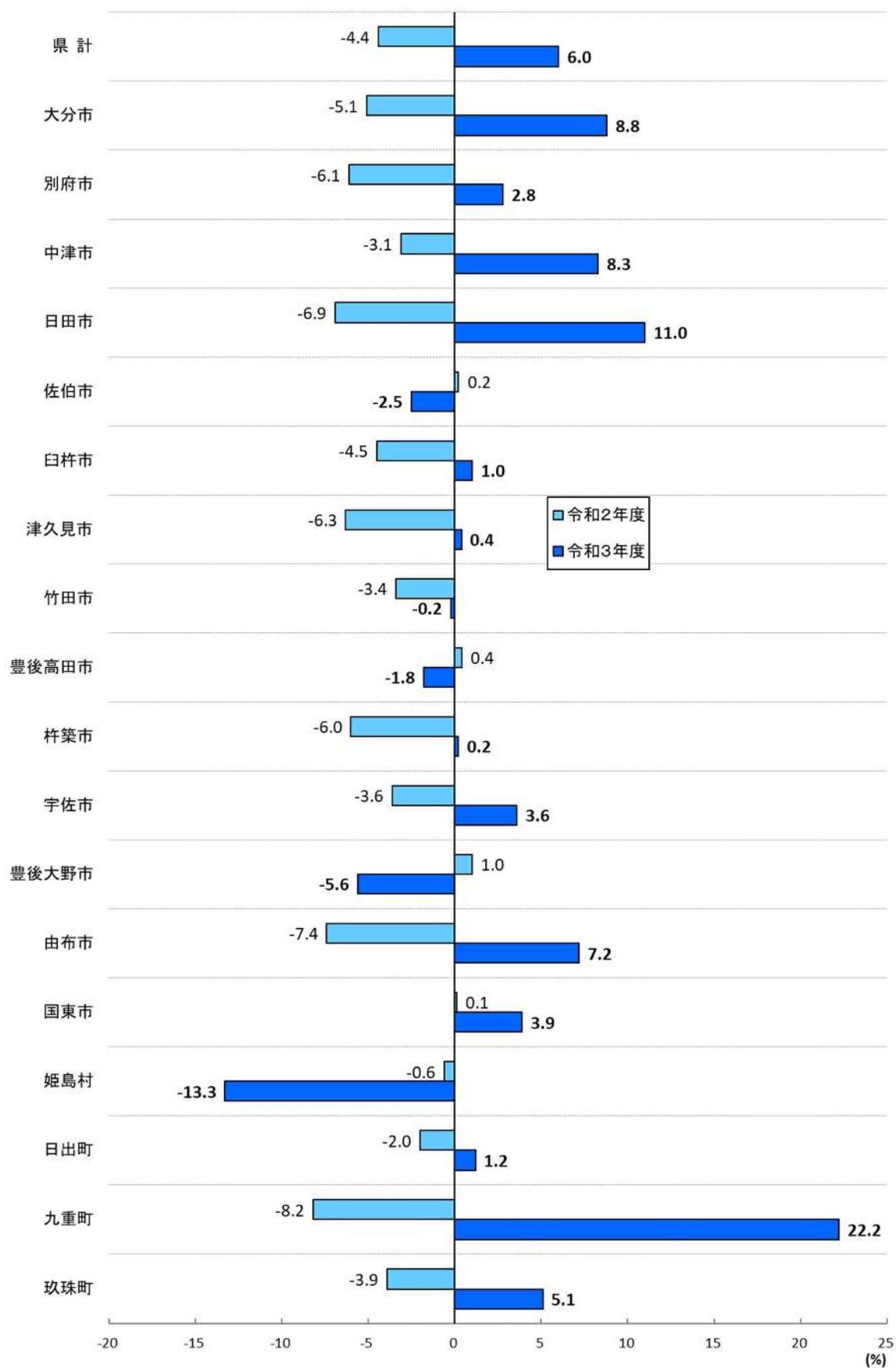


図 1 2 一人当たり市町村民所得対前年度増加率



3-2-1 市町村別の動向

① 大分市

令和3年度一人当たり市民所得314万4千円、対前年度増加率+8.8%であった。また、大分県の一人当たり県民所得（以下、「県平均」）を100とした場合と比較した所得水準は、113.6となっている。

② 別府市

令和3年度一人当たり市民所得235万7千円、対前年度増加率+2.8%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、85.2となっている。

③ 中津市

令和3年度一人当たり市民所得280万8千円、対前年度増加率+8.3%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、101.4となっている。

④ 日田市

令和3年度一人当たり市民所得278万3千円、対前年度増加率+11.0%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、100.5となっている。

⑤ 佐伯市

令和3年度一人当たり市民所得230万6千円、対前年度増加率-2.5%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、83.3となっている。

⑥ 臼杵市

令和3年度一人当たり市民所得214万6千円、対前年度増加率+1.0%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、77.5となっている。

⑦ 津久見市

令和3年度一人当たり市民所得305万8千円、対前年度増加率+0.4%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、110.5となっている。

⑧ 竹田市

令和3年度一人当たり市民所得246万5千円、対前年度増加率-0.2%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、89.1となっている。

⑨ 豊後高田市

令和3年度一人当たり市民所得222万2千円、対前年度増加率-1.8%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、80.3となっている。

⑩ 杵築市

令和3年度一人当たり市民所得210万1千円、対前年度増加率+0.2%であった。また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、75.9となっている。

⑪ 宇佐市

令和3年度一人当たり市民所得263万4千円、対前年度増加率+3.6%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、95.2となっている。

⑫ 豊後大野市

令和3年度一人当たり市民所得215万7千円、対前年度増加率-5.6%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、77.9となっている。

⑬ 由布市

令和3年度一人当たり市民所得284万4千円、対前年度増加率+7.2%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、102.7となっている。

⑭ 国東市

令和3年度一人当たり市民所得225万3千円、対前年度増加率+3.9%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、81.4となっている。

⑮ 姫島村

令和3年度一人当たり市民所得193万6千円、対前年度増加率-13.3%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、69.9となっている。

⑯ 日出町

令和3年度一人当たり市民所得238万7千円、対前年度増加率+1.2%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、86.2となっている。

⑰ 九重町

令和3年度一人当たり市民所得283万2千円、対前年度増加率+22.2%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、102.3となっている。

⑱ 玖珠町

令和3年度一人当たり市民所得277万6千円、対前年度増加率+5.1%であった。
また、県平均を100とした場合と比較した所得水準は、100.3となっている。

3-2-2 地域別の動向

一人当たり市町村民所得の動向を地域別で見ると、前年度に対して、西部（+11.0%）、中部（+8.2%）、北部（+5.5%）、東部（+2.3%）の4地域で増加し、豊肥（-3.4%）、南部（-2.5%）の2地域で減少した。

表4 一人当たり市町村民所得（地域別）

(単位：千円、%)

年 度	実額			対前年度増減額		対前年度増加率		対県格差	
	R 1	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
県 計	2,732	2,612	2,768	-120	156	-4.4	6.0	100.0	100.0
東 部	2,369	2,257	2,308	-112	51	-4.7	2.3	86.4	83.4
中 部	2,986	2,830	3,061	-156	231	-5.2	8.2	108.3	110.6
南 部	2,360	2,364	2,306	4	-58	0.2	-2.5	90.5	83.3
豊 肥	2,374	2,354	2,273	-20	-81	-0.8	-3.4	90.1	82.1
西 部	2,685	2,510	2,787	-175	277	-6.5	11.0	96.1	100.7
北 部	2,605	2,529	2,668	-76	139	-2.9	5.5	96.8	96.4

図13 地域別一人当たり市町村民所得の推移

